

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第4回西脇市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	平成28年7月25日（月） 午後1時15分～午後2時50分
開催場所	西脇市民会館 中ホール
出席委員の 氏名又は人数	加藤会長、澤木委員、高木委員、岩崎委員、内橋（好）委員、宇仁菅委員、酒木委員、笹倉（照）委員、田中委員、藤井委員、三村委員、内橋（實）委員、阿江委員、伊藤委員、笹倉（ふ）委員、篠田委員、西村委員、水島委員、山岡委員、吉岡委員  (選出区分別 50音順)
欠席委員の 氏名又は人数	藪下委員、荻原委員、富永委員、吉住委員、小野委員、
出席職員の職・ 氏名又は人数	萩原課長、長井補佐、依藤補佐、澤田主任、宮田西田、大森、狩野
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	1人
議題又は 協議事項	1 西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組について 2 シティプロモーション推進事業について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>○開会</p> <p>○あいさつ</p> <p>地方創生は全国一斉に取組が進められており、先手必勝、勝つか負けるかの勝負を日本中で行っている。世界中で社会環境が大きく変化するなか、地域がどうあるべきか、創生会議で建設的な議論をしていただきたい。</p>
会長	

	<p>○新任委員紹介・あいさつ</p> <p>○西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組について</p> <p>(資料1及び資料2に基づき、事務局から説明)</p>
会 長	委員から質問、意見等があればお願いしたい。
委 員	望ましい方向、望ましくない方向、との意味をお伺いしたい。
事務局	基準値と目標値を設定しているが、基本的には、基準値から目標値に近づいている場合を望ましい方向、反対に推移している場合を望ましくない方向、としている。
委 員	うまくスタートをきれていないものについては、うまく工夫をして施策効果を高めるようにしていただきたい。
事務局	総合戦略は31年度までの期間となっているが、一部スタートしていない事業もある。今後着実に展開していきたい。また、基本目標2で望ましくない方向に推移しているものが比較的多くなっているが、みらいえが新しく開館したこともあり、出産、子育てなどきめ細かな支援をしていきたいと考えている。
委 員	<p>スタートをきれていない理由として構造的な問題があるのであれば対応を、そうでないならば着実に取組を進めていただきたい。</p> <p>資料2「ふるさと納税」の項目では、大幅に指標が向上しており、うまくいっているようであるが、全国的に伸びてもいる。事務局から補足はあるか。</p>
事務局	ふるさと納税については、委員御指摘のとおり、全国的に加熱といってもいい状況にある。西脇市では平成27年度から返品を充実させた。全国的にはかなり返品率を高く設定しているところもあるが、西脇市としては地域資源のPR、地域経済の活性化に力点を置いている。

委 員	<p>資料2「重点プロジェクト」であるが、すばらしい取組をされており、地場産業、観光などそれぞれのプレイヤーが努力されているし、努力しなければという思いを感じる。大阪で産学連携、クリエイター同士の連携などに取り組んでいるが、飲食店×デザイナー、子育て×デザイナーなど、違う分野の人が連携、情報交換できる場（スクエア・広場）が西脇市にあれば、相乗効果が生まれると思うが、そのような取組はあるか。</p>
事務局	<p>現時点ではそのようなネットワークづくりについて不十分な状況であるが、移住者などで興味を引く取組をされている方もいる。そういう人たちのネットワークを作って、西脇のまちの魅力、人の魅力をアピールしていきたいと思っており、いただいた御意見を参考に検討していきたい。</p>
委 員	<p>ファッション都市構想で、人材育成を進めている。産元の方で4名のデザイナー受入れを行っており、今年も数人受け入れている。取組が着実に進んでいるという実感がある。デザイナーが作った製品を発表・展示できる場、若いクリエイターが交流できる場が必要ではないか、という意見もあり、そういう取組も少しずつ進めばと考える。</p>
委 員	<p>デザイナーなど中間を担う人材は育ってきているという話であるが、現場で生産する人材不足が懸念される。播州織や農業などで、現場の生産者が頑張れる環境づくりということも念頭に置いて取組を進めてほしい。</p> <p>数値目標・KPIで、望ましくない方向という表現をされているが、悪い方向へいつているかのような印象を与えるので、「努力が必要な項目」などに変えてもいいのではないか。</p>
委 員	<p>数値を設定するということはわかりやすくて良いと思う。「基準値」はどのようなものか伺いたい。</p>
事務局	<p>「基準値」は、概ね総合戦略策定の26年度時点の数値と御理解いただきたい。</p>
会 長	<p>基本目標2の出生数・年少人口などでは、目標値が下が</p>

	<p>っているが、どういう趣旨であるか。</p>
事務局	<p>例えば出生数であるが、現状のまま推移すると、年間出生数は 270人～ 280人程度にまで低下する、これを色々な取組により 300人程度で低下を食い止めようという趣旨である。</p> <p>○シティプロモーション推進事業について</p> <p>(資料 2 に基づき、事務局から説明)</p>
委員	<p>当初 4 年間は市民の方に火を付けるというイメージか。</p>
事務局	<p>まず、市内のコンテンツが充実していないと、せっかく外部から来西されても落胆させることになりかねない。まず、西脇市のヒト・モノ・コトの魅力をしっかり充実させるために、市民の巻き込みが最も重要だと考えている。</p>
会長	<p>受託者は、シティプロモーションの実績はあるのか。</p>
事務局	<p>受託者はグループを挙げて、地方創生について積極的に展開しているところである。東京本社では、地方創生に特化したプロジェクトも立ち上がった。他の自治体でも同様に多数のシティプロモーションを進行している。</p>
委員	<p>西脇は個としての思いは強いが、連帯して何かに当たるとなると弱くなる。もっと、若い人間が何かに参加したり、汗をかいたりする場があればいいと思う。</p>
委員	<p>まず、外部の方に興味を持ってもらうことが大切。そして、一度興味を持っていただいた方を掴んで離さないようにケアすること。ふるさと納税などでも、お礼状を添えるなど丁寧なフォローがファンを作るものだ。</p>
委員	<p>人の心はお金では買えない。しかし、西脇市全体の空気が変われば、西脇の人も変わる。こういった事業を積極的に展開して、「よし、やってやろう」という人が増えることを期待している。</p>

委員	確かに、これからは、従来のような一方的な情報発信や事例の紹介ではなく、「一緒に作り上げていく」感覚で、いわば、双方向性や多方向を意識した情報発信が重要になるのではないかと感じている。そういう意味で、シティプロモーションの取組は重要だと思う。
委員	市民が日々の暮らしを送る中で、地方創生やまちづくりなど、具体的なものを感じることがない。しかし、このまちが好きだという人は多い。そういった人々の声を、地域に入って聞くことが必要だ。
会長	イノベーター、アーリーアダプターとマジョリティーの間には大きな溝があり、西脇市は特にその溝が大きいとのことだが、それをブロックしているものはなにか。
事務局	新しい取組に対する受容度が低いこと、すなわち、若干排他的ともいえる市民気質と市を覆う雰囲気ではないか。
会長	今回の提案は排他的なものをクリアできる提案なのか。
事務局	新しい取り組みに対する受発信について、イノベーター層を手始めに徐々に火をつけていく進め方にしたい。新しいヒト・モノ・コトに対して、積極的な評価を行うといったルール作りなどの施策も有効である。
会長	貴重な御意見をいただき感謝する。シティプロモーションをはじめ地方創生の取組を進める上で多くの意見をいただきたいと考えているので、今後ともよろしく願いしたい。
事務局	次回は12月ごろに開催を予定している。協力をお願いする。
問合せ先	西脇市都市経営部次世代創生課 TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014